

「地域防災」50号を 迎えます



一般財団法人 日本防火・防災協会
会長 秋本 敏文

実は阪神淡路大震災直後に消防庁長官に就任して、地域の防災体制の重要性を思っていたのですが、東日本大震災を経て、その思いが一層強くなり、当時の日本消防協会からこの体制強化を国の方針として明確にするよう新法制定をお願いしました。これが、平成25年12月、国会議員の方々のご理解ご尽力によって、議員提案によって成立しました。

このことに深く感謝しながら、消防防災の実務側からも具体的な動きをすべきだと思い、翌年8月、全国各地でさまざまな活動をなさっているの方々にご参加頂いて、地域防災力充実強化大会を開催し、具体的な活動事例を発表して頂くとともに、さらに活動を発展させる決議も頂きました。

そのような経過を経て、各地で地域防災力強化への動きを一層進めて頂くことになったのですが、一方では、地域防災に関する総合的な情報提供を行うべきだと考え、平成27年4月から、この「地域防災」を発刊してまいりました。隔月刊ではありますが、国、地方公共団体における政策動向、学者研究者の方々による論説のほか、全国各地の具体的な活動事例をご承知頂くという、文字通り、地域防災に関する総合情報誌として継続してまいりました。それが早くも通算50号となりました。ここに至るまでご協力頂きました多数の、幅広いの方々には、申しあげる言葉がない位に、深く感謝いたしております。ひと言で「地域防災」と申しまして、対象とする災害、被害は勿論さまざまであり、対応策も幅も広く、関係して頂かなければならない方々も多数であります。文字通り、地域の皆様総参加総活躍のなかで総合的な対応がなされることが必要であります。特に近年の世界的な災害の多様化激甚化、地域社会、社会経済全体の変化のなかで、地球上どこでもいろいろなことがあり得る思いながら、各地でのさまざまな体験を学び、その地域ではどのような対応が必要か、いわばそれぞれの地域を原点としながら、地域の安全確保のための対応を考え、日頃からの地域内連携のもと、協力する対応体制をつくりあげていくことが益々重要になっていきます。

そのようななか、「地域防災」の使命は益々重く、大きくなっていると思います。発刊に携わる私ども一同、ひきつづき100号達成の日を思いながら力を尽くしてまいります。ご協力頂いてきました皆様、我が国の防災減災発展のため、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。そして、ご覧頂いている皆様、これからもご覧頂きながら、お気づきのことがございましたらお寄せ頂き、「地域防災」を皆様方ご自身のものとして活用して頂ければありがたいと存じます。